



2010年度決算補足資料



東洋紡績株式会社

2011.5.9

決算のポイント

10年度実績

- 営業利益から当期利益、各利益項目で概ね倍増
 - 液晶・電子部品、自動車関連などの数量回復
 - 新製品投入などポートフォリオ改革で収益力アップ
 - 原燃料急騰、震災影響もあり、直近見通しを下回る

11年度予想

- 新製品投入など拡大計画を実行中も、原燃料高騰、震災の影響を勘案し、前年度並みの200億円以上の営業利益を予想

(億円)

	09年度		3,188	10年度		3,406	11年度 3,450
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,549	1,639	3,188	1,697	1,708	3,406	3,450
営業利益	30	85	115	109	99	209	200

目次

I

2010年度決算概況

II

2011年度予想

I . 2010年度決算概況

(1) 決算概要

	(億円)						
	09年度	10年度			増減		直近見通し (2011/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,188	1,697	1,708	3,406	+218	+6.8%	3,400
営業利益	115	109	99	209	+94	+82.1%	220
(営業利益率)	3.6%	6.5%	5.8%	6.1%	-	-	6.5%
経常利益	74	89	81	170	+96	+129.0%	190
当期純利益	21	-19	61	42	+21	+98.4%	50
EPS(円)	2.88	-	-	5.49	-	-	
減価償却費	204	92	99	191	-13	-6.4%	
設備投資	152	54	85	139	-12	-8.1%	
営業CF	290	179	158	337	+47	-	
為替レート(円/US\$)	93	89	82	85			84
国産ナフサ価格(千円/KL)	41	46	49	48			46

(2) 財務指標

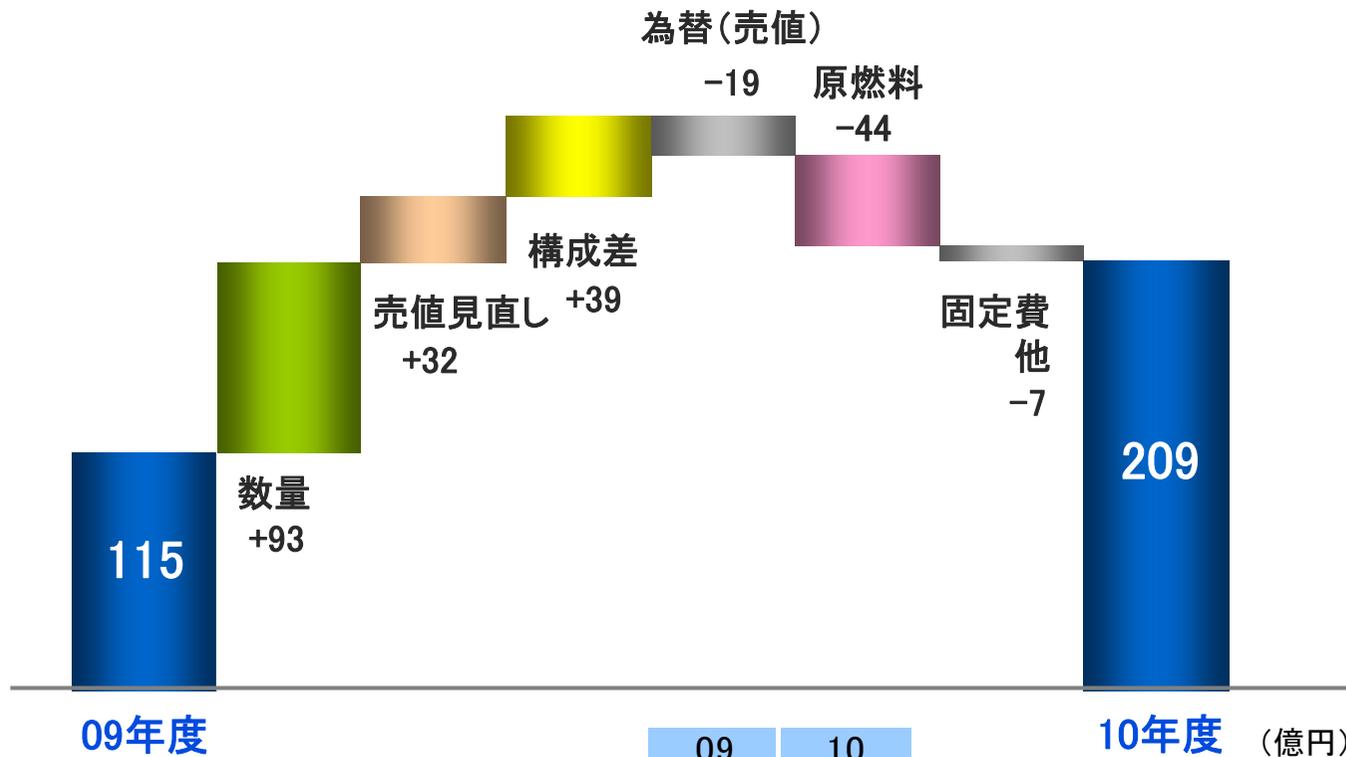
資産効率重視の経営を継続

(億円)

	09/3末	10/3末	11/3末
総資産	4,438	4,384	4,435
うち現預金	100	101	220
うち棚卸資産	758	625	660
純資産	1,340	1,311	1,498
自己資本	983	1,071	1,258
(自己資本比率)	22.1%	24.4%	28.4%
少数株主持分	357	240	240
有利子負債	1,789	1,710	1,518
D/E レシオ	1.82	1.60	1.21
(営業利益ROA)	2.5%	2.6%	4.7%

(3) 営業利益増減要因分析

【09年度→10年度】



	09	10
円レート (¥/\$)	93	85
国産ナフサ (千円/kl)	41	48

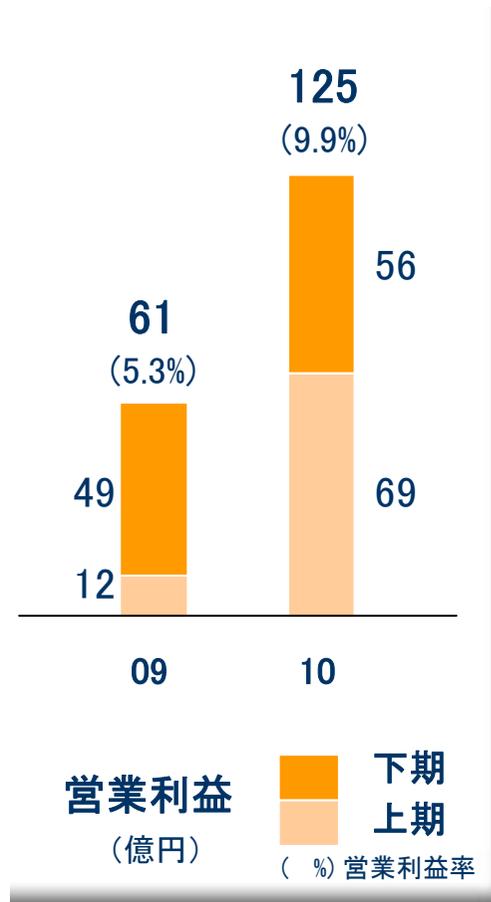
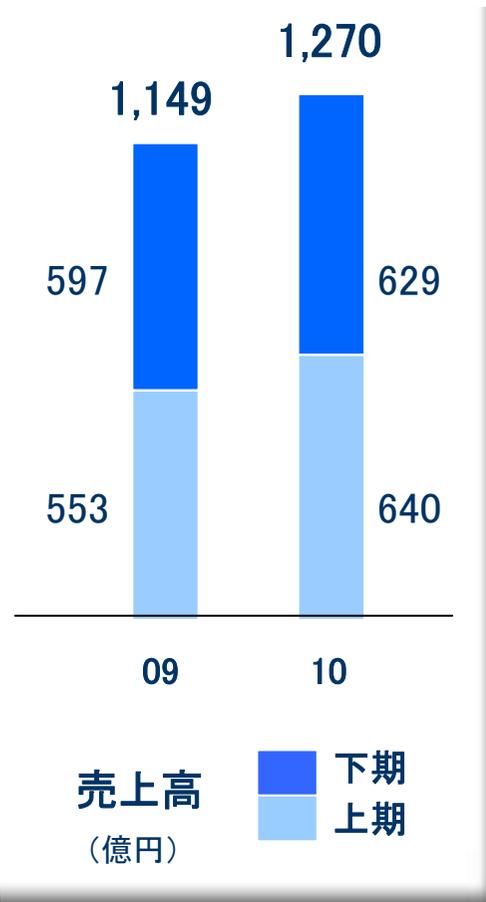
(4) セグメント別

(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2011/2)
	09年度	10年度		09年度	10年度				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,149	640	629	1,270	61	69	56	125	130
産業マテリアル	632	345	369	715	23	24	25	49	50
ライフサイエンス	324	149	165	314	40	17	20	37	40
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,105	1,135	1,163	2,298	125 5.9%	110 9.7%	102 8.7%	212 9.2%	220
衣料繊維	884	443	426	868	4	3	4	6	6
不動産・その他	199	120	120	239	18	12	11	23	24
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-17	-32	-30
合計	3,188	1,697	1,708	3,406	115	109	99	209	220

(5)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

製品ポートフォリオ改革と数量効果で大幅増益



● 工業用フィルム

タッチパネル、セラコン用フィルム好調
プロダクトミックス改善効果

● 包装用フィルム

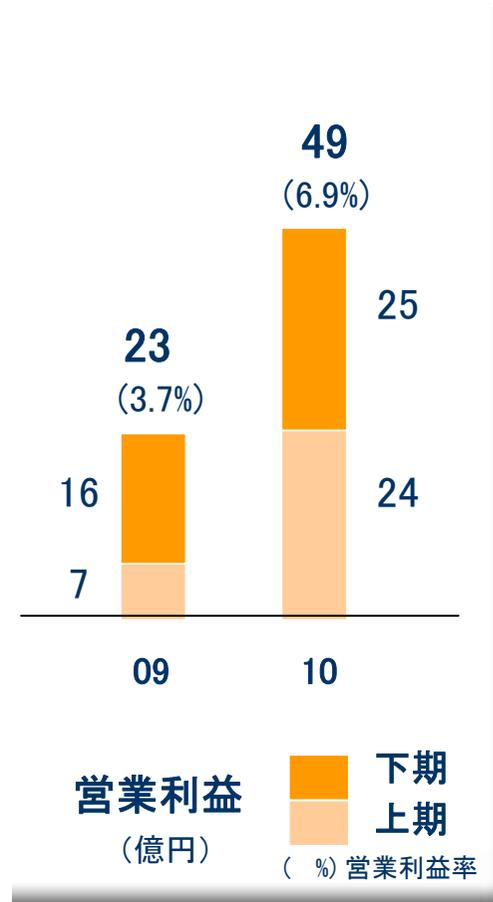
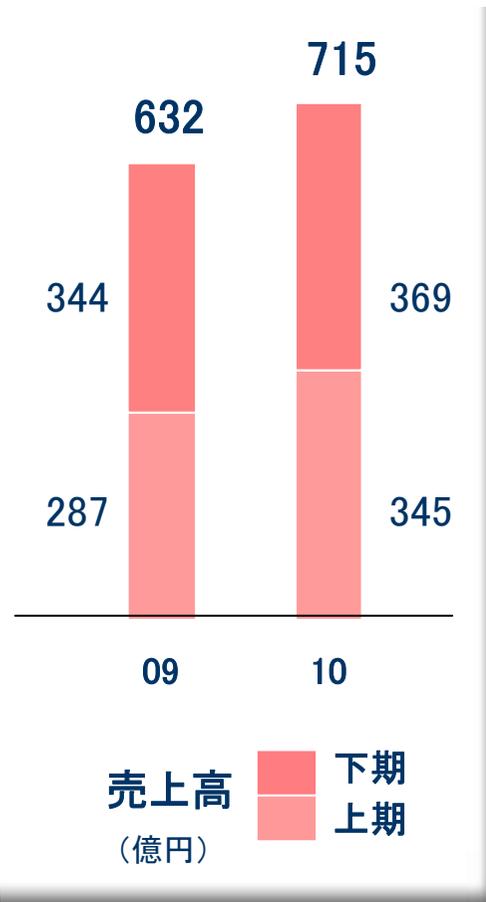
新タイプ投入でシュリンクフィルムの
数量拡大

● 機能樹脂

バイロンは海外向け電子部品用好調
エンプラは高融点PAの新設備稼働

② 産業マテリアル

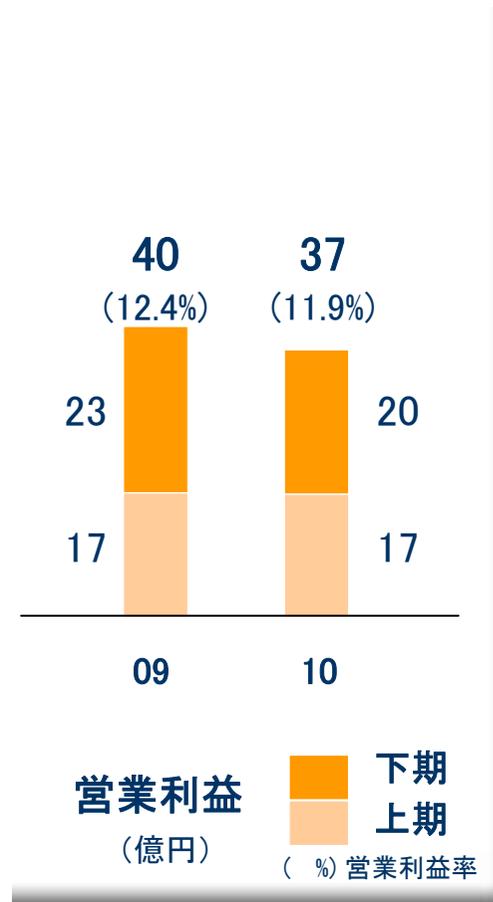
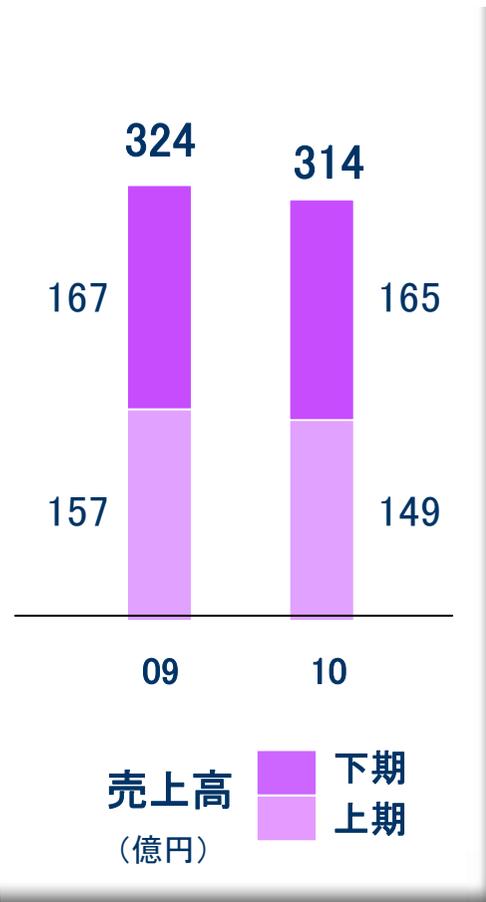
機能フィルター、VOC処理装置などの環境関連堅調
エアバッグ、スパンボンドなど自動車関連も数量回復



- **機能フィルター**
事務機器、自動車用フィルター堅調
* VOC処理装置も国内外で需要拡大
* 揮発性有機溶剤
- **スーパー繊維「ダイニーマ」**
新機台稼動により数量拡大
(日本ダイニーマ)
- **スパンボンド**
生産体制効率化と数量回復により
収益改善

③ ライフサイエンス

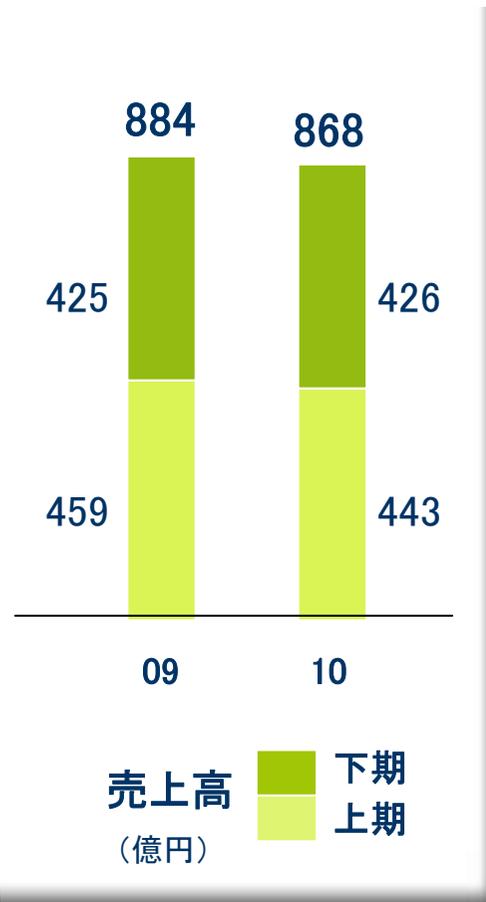
診断薬用酵素、機能膜、医薬製造受託など需要は堅調も、
為替影響などもあり減益



- 診断薬用酵素
血糖モニター用酵素が売上拡大
- 医用膜
薬価改定影響あるも、海外向け出荷堅調
- 医薬品製造受託
受託案件は順調に拡大
- 合成薬中間体
数量減で苦戦

④ 衣料繊維

機能衣料分野でのスポーツアパレルとの取り組み拡大
百貨店向けほか一部消費停滞の影響あり



● 東洋紡STC (繊維)

スポーツ、インナーなどの
機能衣料堅調

● アクリル繊維

国内外の需要堅調も
原料高と為替で苦戦

● 衣料繊維使用資本

('09) 831億円→('10) 759億円

Ⅱ. 2011年度予想

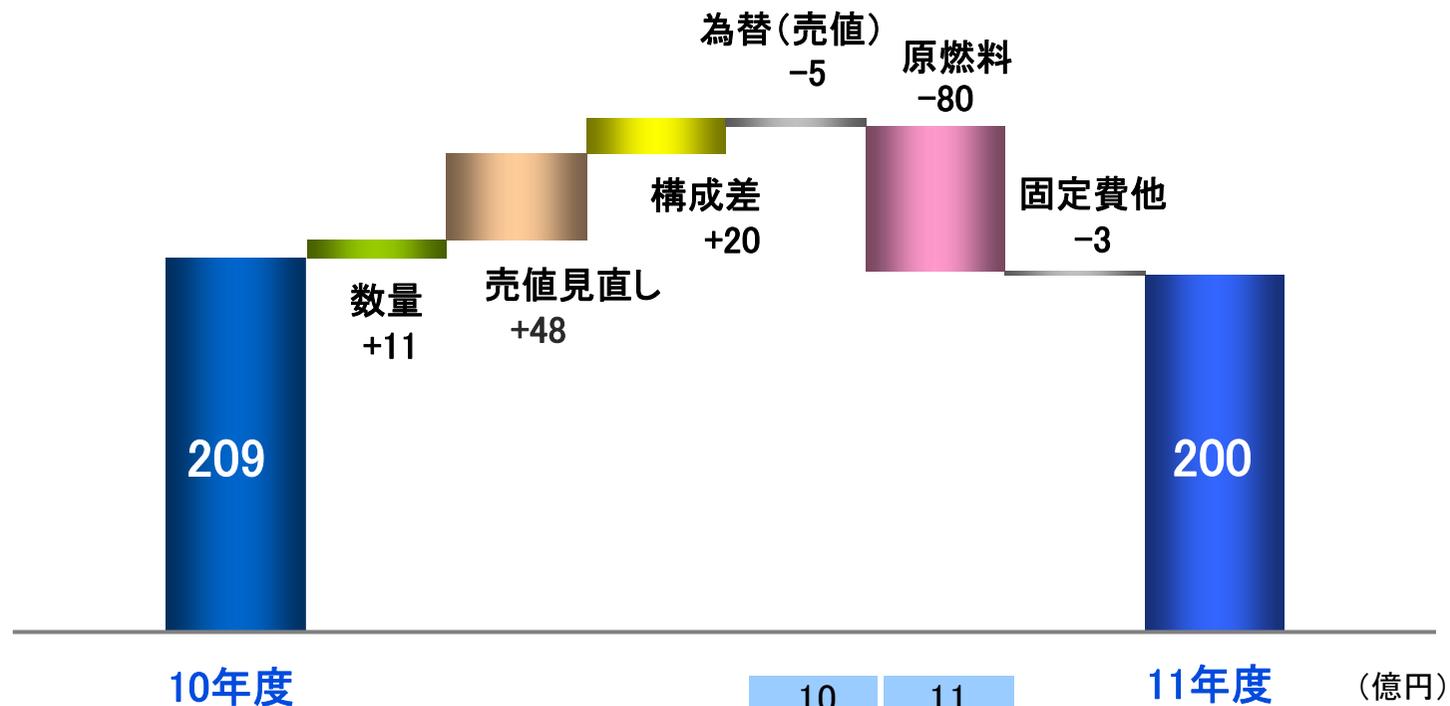
(1) 業績予想

(億円)

	10年度実績	11年度予想			増減	
		上	下		金額	%
売上高	3,406	1,600	1,850	3,450	+44	+1.3%
営業利益	209	80	120	200	-9	-4.3%
(営業利益率)	6.1%	5.0%	6.5%	5.8%	-	-
経常利益	170	60	100	160	-10	-6.1%
当期純利益	42	23	47	70	+28	+68.5%
EPS(円)	5.49	-	-	7.89	-	-
減価償却費	191	90	90	180	-11	-
設備投資	139	90	110	200	+61	-
為替レート(円/US\$)	85	84	84	84		
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	62	62	62		

(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【10年度→11年度】



	10	11
円レート (¥/\$)	85	84
国産ナフサ (千円/kl)	48	62

(3) セグメント別内訳(予想)

(億円)

	売上高		営業利益	
	10年度	11年度	10年度	11年度
フィルム・機能樹脂	1,270	1,350	125	120
産業マテリアル	715	700	49	40
ライフサイエンス	314	350	37	42
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,298	2,400	212 9.2%	202 8.4%
衣料繊維	868	820	6	10
不動産・その他	239	230	23	23
消去・全社	-	-	-32	-35
合計	3,406	3,450	209	200

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社

All Rights Reserved

